

令和 2年度 学校経営の方針

1. 基本理念

子供一人一人が生き生きと目を輝かせ、学ぶことややり遂げた喜びに満ちた通い甲斐のある学校、保護者や地域に信頼される学校にする。そのために、教育課程の編成に工夫を凝らし、教育活動を子供の実態に即したものに改善し、子供が主体的に学び、自己実現を図る力を身に付けるための最大限の指導と支援を行う。

2. 基本姿勢 「凛とした空気漂う学校」

(1) 子供一人一人が輝く学校～授業が分かる 活躍の場がある

・「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた育成を基本姿勢とする。極小規模校の特性を生かした指導や活動を通して、子供一人一人のよさや可能性を認めて伸ばす。達成感や成就感を味わわせ、学ぶ喜びを感じることができる学校を目指す。

(2) 一人一人の子供を育てる教師集団～プロ教師集団

・授業のできる教師
・経営参画意識をもった教師
・心身ともに健康で、子供たちに信頼される教師

(3) 家庭や地域との連携・協力を密にした学校～地域全体が学びの場

・地域環境のよさや教育力を活用すると共に、地域と共創する学校、信頼される学校にする。

3. 教育目標

◎すすんで考える子

・自主性
・探究心
・自立性
・論理性
・表現力
・創造性
・積極性

◎明るくやさしい子

・人間性
・関係力
・奉仕
・協調性
・思いやり
・感受性
・公共心
・善悪の判断

◎元気にがんばる子

・向上心
・実行力
・健康安全
・自立心
・目的観
・根気強さ

4. 重点教育目標

自分で考え、正しく判断し、行動できる子

○自主・自立 ○学力の基礎・基本 ○思いやり・協力 ○善悪の判断・正しい行動 ○向上心

(1) 計画・実践・評価・改善を適宜行い教育活動の改善を図り、主体的に学ぶ子を育成する。

○学級経営案の活用（P D C Aに基づいた改善プランの検証）

○授業の改善・充実を図る。～自学の定着

① 授業内容の工夫

・基礎基本の定着
・問題や資料を正しく読み取るための取組

② 授業展開の工夫

・課題解決型学習の充実
・学びの場の工夫～主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業の構築

○地域や学校の特色を生かした教育課程の推進

○全教職員の創意と総意を生かした教育活動の展開

○子供一人一人のよさが生きる評価

○計画的で主体的な家庭学習の取組

(2) 様々な教育活動の中で、自分の思いや考えを表現できる子供を育成する。

○伝える力の育成

○場の設定と内容の工夫

- (3) 温かい人間関係を構築し、互いに認め合い、よいところを伸ばしていく子供を育成する。
- 生徒指導の機能を生かした学級経営の充実
 - 認め合える生活集団、学習集団の育成
 - 全校体制における取組の充実

5. 経営上の重点

- (1) 〔教育課程〕 極小規模校の特性や地域の自然・文化・人材を生かし、児童の実態に即した教育課程の編成・実施と短サイクルで行う評価・改善の推進(PDCAの充実)
- (2) 〔教育活動〕 基礎・基本の確実な定着を図り、主体的・体験的に学ぶ教育活動の推進
- (3) 〔学級経営〕 子供一人一人の存在感や有用感を高め、よさが発揮される学級経営の推進
- (4) 〔研修活動〕 教職員の資質向上を目標とし、授業改善に資する研修活動の充実
- (5) 〔環境整備〕 子供の安全と学ぶ意欲を高める環境整備の推進
日々の教育活動における言語環境の整備の推進
- (6) 〔家庭地域〕 家庭・地域との連携を深める活動の推進
- (7) 〔情報管理〕 本校の個人情報管理規則によるプライバシーの保護
- (8) 〔学校事務〕 本校の学校教育目標の実現に向けた教育活動を円滑かつ効率的に推進する事務の運営
- (9) 〔勤務時間〕 会議の精選や効率化で勤務時間の縮減を推進

6. 指導上の重点

- (1) 〔学習指導〕 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着
- (2) 〔道徳教育〕 豊かな心や人間性を育てる授業と道徳的実践力を育てる場の充実
- (3) 〔特別活動〕 望ましい人間関係の育成と自主的、実践的な態度の育成
- (4) 〔総合的な学習〕 体験的な活動や教科で身につけた力を発揮して、主体的に課題を解決する力の育成
- (5) 〔外国語科〕 「聞く」「読む」「話す」「書く」活動をとおして、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度・技能の育成
- (6) 〔生徒指導〕 問題行動等の未然防止、早期対応、子供理解の充実と教育相談の推進
- (7) 〔健康教育〕 健康な生活を営むために必要な知識と態度の習得と環境整備の充実
- (8) 〔環境教育〕 環境問題について関心をもち、自主的に活動する場や機会の設定
- (9) 〔読書活動〕 朝読書・家読・本の紹介などの読書活動や環境整備の充実
- (10) 〔特別支援教育〕 児童の実態や課題の把握、研修活動の充実
- (11) 〔プログラミング教育〕 プログラミングをとおして、論理的な思考力の育成

7. 組織運営の基本

- (1) ①学校には様々な業務があるが、毎日の授業を第一とする。子供と向き合う時間、教材研究する時間の確保と充実のため、職員会議の効率化や事務処理の簡略化等、創意工夫した学校運営を推進する。
②個々の業務を明確にして確実に遂行する体制づくりを行う。
③子供に関する情報交流や、日々の教育活動についての情報交換を行い、風通しのよい雰囲気づくりにつとめる。
④これまで積み重ねてきた様々な教育活動を継続、改善しながら、新たな発想を取り入れる。
- (2) 指導力の向上を図り、子供の変容で勝負する創造的・実践的な校内研究を推進する。
- (3) 教師としての使命感や専門的力量、社会人としてのマナーを大切にし、子供や保護者に信頼されるよう努める。
- (4) 保護者・地域と一層の連携を図る。
- (5) 責任体制を明確にする。(報告・連絡・相談・確認の徹底)
- (6) 危機の予防、危機対応、他機関との連携や事後処理について共通理解を図る。
- (7) 学校間・異校種間交流や地域との交流・連携を深める。